

クラスの様子【6月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 保育士に見守られながら気に入った遊びを楽しむ。

一日一日の生活の中で園での生活に馴染み、リズムも出来てきました。朝登園し、しばらくお部屋で遊んで小さいお友だちがミルクを飲むと、大きいお友だちはお散歩へ。毎日過ごしていく中で流れを感じ、子どもたちの方から“散歩に行こう”とアピールがあります。帽子を被り靴を履いて出かけますが、繰り返していく中で見通しをもち、落ち着いて過ごしていく事ができています。給食の時間もエプロンをして消毒をして“いただきます”をするという順番もわかってきているようです。食べる意欲もあり、色々な事が出来るようになってきました。小さいお友だちも寝返りをし、他のお友だちの遊ぶ姿を見て声を発し、身体を動かし“一緒に遊びを共有”しているようです。一人ひとりが思いをアピールする場面も増えてきました。思いを充分受け止め、ゆったり過ごしていきたいと思っています。体調や気候に合わせて、戸外の活動も楽しんでいきたいです。(伊達)



●りす組 **今月の目標** たくさんの自然に触れ、十分に身体を動かす。

5月は天気の良い日が多く、戸外でたくさん過ごす事ができました。散歩では長い距離を歩ける子も増えてきました。タンポポの綿毛をとばしたり、シロツメ草、カタツムリ、おたまじやくしなど自然に触れながら身体を動かしました。ぶどうグループ・めろんグループ合同で過ごす時間も多く、色々な友だちとの関わりを持つことが出来ました。少しずつ言葉も増え、「して」や「ちょうだい」などの自分の思いを自分なりの表現で伝えられるようになってきています。これから保育士との丁寧な言葉のやりとりを通して、さらに言葉に興味・関心をもてればと思います。(黒田)



●赤うさぎ組 **今月の目標** 戸外に出て、体を使って伸び伸びと遊ぶ。

5月は天気の良い日が多く、園庭、西の広場、散歩など外でたくさん遊びました。外遊びが大好きな子ども達は、自分の帽子を探して被ったり、「こうやってはくの?」「あつとる?」と靴の左右を確認しながら履いています。砂場や登降棒で夢中になって遊ぶ子が多く、アイス屋さんやごはん屋さんになって「いらっしゃいませ」「アイスどうぞ」と保育士や友達に話しかけて、同じ遊びや空間にいることの心地良さや楽しさを感じながら遊びを通して関わりが増えてきています。登降棒では、保育士に手助けしてもらいながら、登ったり、降りたりを何度も挑戦しています。足腰や体がしっかりとしてきて自分で高くまで登れると嬉しそうにしています。散歩では、それぞれのペースで草花を見つけて「かわいいね」「赤色」と言って手にとったり、生き物に興味がある子も多く、てんとう虫やだんご虫、かえるやかになどを優しく手の平にのせてみたりと自然にたくさん触れています。子ども達の興味のあること、やってみたいというその時の気持ちにそばにいる大人が寄り添い、言葉にしたり、発見を共に楽しみたいと思っています。また、トイレに座ってみたり、衣服の着脱も自分でしてみようとする姿が増えてきています。丁寧に手順を伝えたり、必要な時には手助けをしながら“できた”という成功体験をたくさん感じられるといいなと思います。これから暑くなってくるため、体調面に気をつけ、水分補給をとりながら過ごしていきたいと思っています。(三浦)



クラスの様子【6月号】

●白うさぎ組 今月の目標 戸外に出て、体を使って伸び伸びと遊ぶ。

うさぎ組では、給食を食べる前に「今日はどうなお野菜がはいっているかな？」と子ども達に聞くと「にんじん!」「しめじ!」「たまねぎ!」と野菜の名前をたくさん知っています。野菜に興味があり、それなら実際にみんなで育ててみよう!と、トマトと枝豆を育てることになりました。トマトは苗を植え、枝豆は1人ずつ種まきをしました。毎日順番に水やり当番を決め、子ども達が水やりをしてくれています。お当番になった子は「水やりする!」と張り切って水をあげ、お当番じゃない子も「明日は誰かな?」と毎日楽しみにしながら保育士やお友だちと話す姿がありました。水やりする中で「芽がでてきた!」「トマトの葉っぱおっきい!」など成長を間近で見ること、子ども達なりに気付きや発見を楽しんでいるように思います。うさぎ組みんなで育て、収穫する日がとっても楽しみです。(ゆい)



●とちのき組 今月の目標 自然に触れたり、元気いっぱい身体を動かして遊ぶようにする。

とちのき組では今、実験コーナーをつくり豆と種の観察をしています。オクラ、豆苗、大豆などを水に浸し、毎日変化を観察しました。「なんかでてきた!」「こっちはかわらんな〜」と、変化していく豆たちを子どもたちはワクワクした様子で見っていました。「マヨネーズみたいなのできた!」「もやみたい!」と子どもらしいかわいい発言があったり、園庭で見つけたさくらの実を実験に加えたいと言ってきてくれる子もいました。残念ながら芽が出なかったり、変化のなかったものもありましたが、それを知ることも大切なことかなと思います。子どもたちが毎日ワクワクしながら登園できるよう、子どもたちが興味をもったこと、疑問に思ったことをどんどん保育に取り入れていきたいなと思います。(黒宮)



●くぬぎ組 今月の目標 梅雨期の自然や動植物に関心を持って親しむ。

先月はカラリと晴れ、そよそよと涼しい風が吹くさわやかな日が多かったので、たくさんお散歩に出掛けました。クラスが始まった頃はひとつひとつみんなで確認してから行動していましたが、最近はそれぞれが自分のペースで考えてお出掛け準備もできるようになってきました。デッキでは年長児が靴を履こうとしている年少児に、手を繋ごうと誘い掛ける姿がよく見られます。優しくじっと待っていてくれるので、年少児はとても嬉しそうです。道中は草花や虫などの動植物を見たり、お友達と話をしながら歩きます。また車が来たら道の端に寄って通り過ぎるのを待ったり、左右を確認して道路を渡ったりと経験を通して交通ルールも学んでいます。管原神社など少し距離のあるお散歩の帰り道は「つかれたー。おなかすいたー。」とみんなバテ気味ですが、これからたくさんお散歩をして体力作りもしていきたいなと思います。(キム)



●さくら組 今月の目標 戸外に出て自然に触れたり、身体を動かして遊ぶ事を楽しむ。

春から夏へと季節の変化を感じ、暑い日が続いていますが、子ども達は戸外遊びが大好きで、お散歩や園庭遊びを楽しんでいます。先月、お散歩先で三匹のカニを見つけさくら組で飼う事になったのをきっかけに、観察コーナーが設定されました。そして親しみが持てるようにと、みんなで三匹のカニの名前を考え、メン君、ちゅうちゃん、ゆきなちゃんと名付けました。子ども達は毎朝登園すると、「えさ食べたかなー」と楽しみに観察していましたが、ある日一番小さいカニのゆきなちゃんが死んでしまいました。「かわいそう…どうすんの?」と悲しそうな表情をしていた子ども達。その日ゆきなちゃんは土の中に埋めてさよならをしましたが、観察コーナーにいるカエル、おたまじゃくしカニが気持ちよく過ごせるようにと新しい水を汲みにいき水を変え石も綺麗に洗いました。生き物を育てる中で、かわいそうな姿を見る事もありますが、悲しい気持ちになった分、生き物への愛情や思いやりの心が育っていくといいなと思います。又、友だちや保育士と生き物を飼育することの楽しさを感じたり、新しい発見をした時の喜びや驚きをみんなで共有していきたいなと思います。(坂)

